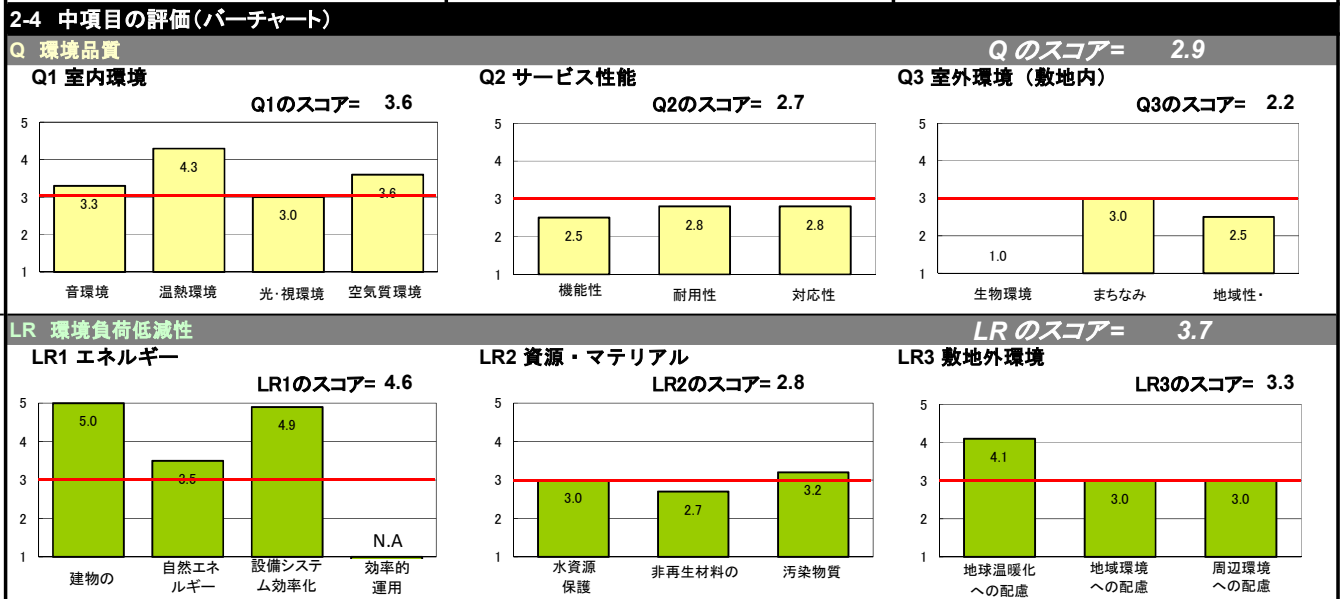
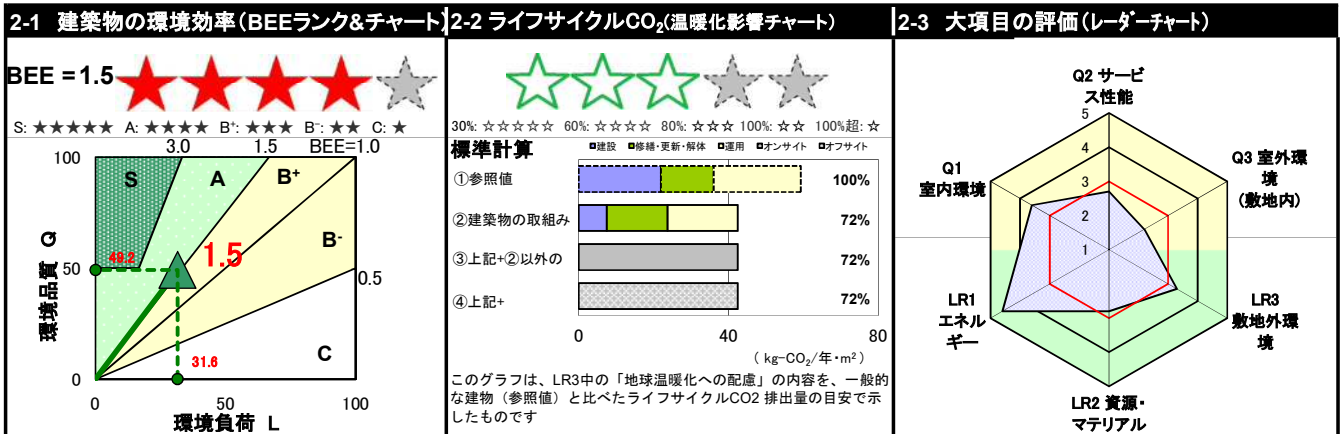


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14056

建築物名称	プラウドシティ宮崎台イーストコート
建築主	野村不動産株式会社 住宅事業本部 神奈川事業部長 梶 貴之
建築物の所在地	川崎市宮前区宮前平3丁目7番1他5筆
設計者氏名、建築士事務所名	北條 隆幸 株式会社日建ハウジングシステム 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	17,954.17m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上8階、地下1階
工事完了年月	平成29年3月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

1-1 建物概要		1-2 外観		14056
建物名称	ブラウドシティ宮崎台イーストコート	階数	地上8F地下1階	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	川崎市宮前区宮前平3丁目7番1他3筆	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	816 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2017年3月 竣工	評価の実施日	2014年10月23日	
敷地面積	7,554 m ²	作成者	中村直人	
建築面積	4,051 m ²	確認日	2014年10月23日	
延床面積	17,954 m ²	確認者	中村直人	



CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

プラウドシティ宮崎台イーストコート

14056

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.6
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合している 周辺のまちなみや景観に対して、標準的な配慮が行われている 空地率を40%以上確保した	1.8/4.3	2.1
2 2.1 2.1.3 まちなみ・景観への配慮			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	低温排熱をすることにより気温上昇の抑制に努める	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.3
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.3 外皮性能	住宅設計性能評価等級4相当 バルコニー、カーテン等による昼光制御	6.1/6.7	4.5
3 3.1 3.1.3 昼光利用設備			
3.2 3.2.2 昼光制御			
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合している 空地率を40%以上確保した	0.6/2.3	1.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	住宅設計性能評価温熱等級4相当 太陽光発電の利用	4.7/5.0	4.7
2 自然エネルギー利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	LGS工法を採用	2.6/4.6	2.8
2 非再生性資源の使用量削減			
3 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	低温排熱をすることにより気温上昇の抑制に努める	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.0
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	住宅設計性能評価劣化対策等級3相当	0.3/0.5	3.1
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	LGS工法を採用	2.2/3.9	2.8
2 非再生性資源の使用量削減			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	荷捌きスペースの確保	0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.0
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合している 空地率を40%以上確保した	0.6/2.3	1.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	住宅設計性能評価温熱等級4相当 太陽光発電の利用	4.7/5.0	4.7
2 自然エネルギー利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	低温排熱をすることにより気温上昇の抑制に努める	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.0**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	住宅設計性能評価劣化対策等級3相当	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の再利用		0.8/1.4	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	住宅設計性能評価温熱等級4相当 太陽光発電の利用	4.7/5.0	4.7
2 自然エネルギー利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEF-川崎2011年版 ブラッドステイル共同イーストコート		欄に数値またはコメントを記入		スコアシート 実施設計段階				14056			
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質											2.9
Q1 室内環境								0.40			3.6
1 音環境							3.0	0.15	3.4	1.00	3.3
1.1 騒音							3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル							3.0	1.00	3.0	0.50	
2 設備騒音対策								-	3.0	0.50	
1.2 遮音							3.0	0.50	3.9	0.50	
1 開口部遮音性能						共用部T1 住居部分T2	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						共用部Dr35 住居部分Dr50	3.0	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音							1.0	-	3.0	-	
2 温熱環境							1.1	0.35	5.0	1.00	4.3
2.1 室温制御							1.3	0.50	5.0	1.00	
1 室温							1.0	0.63	-	-	
2 負荷変動・追従制御性							-	-	-	-	
3 外皮性能				W		設計性能評価温熱等級4相当	2.0	0.38	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性							3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御							-	-	-	-	
6 個別制御							-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮							-	-	-	-	
8 監視システム							-	-	-	-	
2.2 湿度制御							1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式							1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境							2.3	0.25	3.2	1.00	3.0
3.1 屋光利用							1.8	0.30	2.5	0.50	
1 屋光率							1.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口							-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備				W			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							2.0	0.30	4.0	0.50	
1 照明器具のグレア							-	-	-	-	
2 屋光制御				W		バルコニー、カーテン等で屋光制御	2.0	1.00	4.0	1.00	
3 映り込み対策							-	-	-	-	
3.3 照度							3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御							3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境							3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策							4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質						☆☆☆使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策							-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等							-	-	-	-	
4 レジオネラ対策							-	-	-	-	
4.2 換気							3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能							3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画							-	-	-	-	
4.3 運用管理							-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視							3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御							3.0	-	-	-	

Q2 サービス性能										
				2.4	0.40	-	-			2.7
1 機能性				3.0	0.40	3.0	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-			
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務				-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性				2.8	0.31	-	-			2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-			
1 耐震性				3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数				5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-			
2.4 信頼性				1.8	0.19	-	-			
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-			
3 電気設備				1.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備				1.0	0.20	-	-			
3 対応性・更新性				3.0	0.29	2.8	1.00			2.8
3.1 空間のゆとり				3.0	-	2.6	0.50			
1 階高のゆとり				3.0	-	3.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ				3.0	-	2.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50			
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			
1 空調配管の更新性				3.0	0.17	-	-			
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-			
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-			
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-			
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-			
6 バックアップスペース				3.0	0.22	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)					0.30	-	-			2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-			
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-			

LR 建築物の環境負荷低減性									3.7			
LR1 エネルギー									4.6			
1 建物の熱負荷抑制				W		H	設計性能評価温熱等級4相当	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用								3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用				W		H		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				W		H	太陽光発電を利用	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				W		H	エコジョーズの採用	4.9	0.40	-	-	4.9
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)								5.0				
集合住宅の評価								4.9				
4 効率的運用								-	-	-	-	-
4.1 モニタリング				W		H		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				W		H		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル									0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				W		R		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水								3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無								3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減								2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				W		R		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				W		R		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				W		R	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				W		R	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				W		R		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				W		R	LGS工法の採用	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避								3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用								3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避								3.3	0.68	-	-	
1 消火剤				W			ノンフロン使用	2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				W				5.0	0.33	-	-	
3 冷媒				W				3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境									0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮				W			川崎市緑化指針に適合	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮								3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止								3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				G	W	H		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制								3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減						R		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						R		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						R		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						R		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮								3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	
1 騒音								3.0	1.00	-	-	
2 振動								-	-	-	-	
3 悪臭								-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制								3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制								3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制								3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制								3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制								3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のつらみに漏れる光への対策								3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30	-	-	

14056

プラウドシティ宮崎台イーストコート

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。